

2024年度とうきょうすくわくプログラム推進事業学校関係者評価結果報告書

2024年5月25日

宗教法人泉バプテスト教会附属 いづみ幼稚園

学校関係者評価委員会

	評価項目	評価	詳細
1	アウトドア 2024年5月-2025年2月	A	神の創造した世界に触れ合う機会を子どもたちに提供し続けている姿勢を大いに評価する。 幼稚園の外にある人間社会に積極的に行き、社会性を身につけ、生活力を向上することに資すると考え、評価する。 交通安全や不測の事態に常に備えることも危機管理の一環として重要と考える。避難訓練等教職員の絶え間ない研鑽に期待する。
2	カプラ 2024年4月-2025年3月	A	積み木は建てること・壊すことを学ぶことができる。形あるものは建てることのできるし、そしていつか壊れるものである。ある種の哲学を学ぶ機会として評価する。 協力して何事かを成し遂げる中で、「失敗」や「友だちの足を引っ張る行為」をしてしまう子どもも、同じ仲間であるという雰囲気醸成されると良いと考える。
3	絵本 2024年4月-2025年3月	A	キリスト教は本の宗教、正典宗教である。本園がキリスト教主義に立って、良質の蔵書を蓄え続けている営みを高く評価する。 これからも文字を知らない子どもたちにも、絵本を「読んで」ほしい。
4	クリスマス 2024年11-12月	A	キリスト教の三大祭りの一つ降誕祭を、子どもたちとどのように祝うかは重要なことである。今年度は全学年が一つのクリスマスを祝った。今までに無い試みに敬意を表する。 赤ん坊のイエスをさまざまな人々が拝んだという故事を思うと、全学年の園児と保護

			者、教会関係者らの一同で一回のクリスマス礼拝を持つことができたことに意義があったと言える。
5	相撲	A	日本の伝統的な武道である相撲と、キリスト教徒を結び付けることには独特の工夫が必要と思う。神を礼拝することとの関連を深めてほしい。 立浪部屋で平たい食卓を経験させたことを評価する。キリストを囲む食卓がどこにでも現出する不思議を感じた。